

実施内容報告書

課題名：令和4年度テーマ展「水辺の生きもの」の開催

交付番号：202201

機関名：岩手県立博物館

氏名：高橋雅雄

実施概要：“水辺”は陸域と水域の境界線上にあり、両方の環境に適応した特徴的な生物が多数暮らしている。しかしながら、長年の人間活動は水辺を大きく破壊・改変し、そこに暮らす生物の大多数が絶滅の危機に瀕している。本テーマ展では、水の流れに沿って水辺を6つの環境に分け、それぞれの景観的特徴と生物相の特徴を、豊富な実物標本と生態写真で紹介した。また、岩手県を代表する水辺である春子谷地湿原（滝沢市）と高松公園芝水園（盛岡市）について、当館の生物部門が実施した生息生物相調査の成果を示し、両者の価値と危機的現状を紹介した。

会期：令和4年9月23日（金・祝）～12月4日（日） 実開催日数 63日間

会場：岩手県立博物館 特別展示室

会期中の来場者数：7,059名

展示内容：展示資料 230点・展示写真 134点

第1章 河川（展示資料 33点）

鳥類本剥製（シノリガモ・イソシギなど）、哺乳類本剥製（カワネズミ）、昆虫類標本（ニホンカワトンボ・コオニヤンマなど）、クモ類標本（シノビグモ・キシベコモリグモなど）

第2章 自然湿原（展示資料 53点）

鳥類本剥製（シマセンニュウ・マキノセンニュウなど）、昆虫類標本（ムツアカネ・ゴマシジミなど）、クモ類標本（シッチコモリグモ・クマドリハエトリなど）

第3章 水田（展示資料 31点）

鳥類本剥製（ケリ雛・コミミズクなど）、哺乳類本剥製（アズマモグラ）、爬虫類レプリカ（シマヘビ）

第4章 岩手の両生類（展示資料 10点）

両生類レプリカ（ヤマアカガエル・トウキョウダルマガエルなど）

第5章 湖沼（展示資料 53点）

鳥類本剥製（オオハクチョウ・カワウなど）

第6章 ヨシ原（展示資料 20点）

鳥類本剥製（サンカノゴイ・ホオアカなど）、哺乳類本剥製（ニホンイタチ）

第7章 河口・干潟（展示資料 23 点）

鳥類本剥製（クロツラヘラサギ・カモメなど）、無脊椎動物液浸標本（イトメ・ハマダ
ンゴムシなど）

第8章 岩手県立博物館の最新研究：春子谷地湿原と高松公園芝水園（展示資料 7 点）

植物標本（イトナルコスゲなど）、哺乳類本剥製（ツキノワグマなど）

関連事業

(1) 文化講演会

10 月 23 日（日）13:30～15:00 講堂 参加者 80 名

演題：「南半球のマングローブ林での鳥類研究：カッコウ類と宿主の軍拡競争」

講師：上田 恵介 氏（日本野鳥の会会長）

(2) 特別講演会

11 月 3 日（木・祝）13:30～15:00 講堂 参加者 41 名

演題：「水辺に棲む『その他の無脊椎動物』と環境」

講師：松政 正俊 氏（岩手医科大学教授）

(3) 県博日曜講座（計 3 回）

① 9 月 25 日（日）13:30～15:00 講堂 参加者 69 名

演題：「岩手の水辺の生きもの：特に野鳥について」

講師：高橋 雅雄（当館専門学芸調査員）

② 11 月 13 日（日）13:30～15:00 講堂 参加者 47 名

演題：「岩手の水辺のクモ・トンボ」

講師：渡辺 修二（当館主任専門学芸員）

③ 11 月 27 日（日）13:30～15:00 講堂 参加者 70 名

演題：「岩手の水辺の植物について～春子谷地を中心に～」

講師：鈴木 まほろ（当館主任専門学芸員）

(4) 展示解説会（計 2 回）

① 9 月 23 日（金・祝）14:30～15:30 参加者 15 名

② 10 月 9 日（日）14:30～15:30 参加者 18 名

(5) 自然観察会

11 月 23 日（水・祝）10:30～12:00 盛岡市高松公園 参加者 20 名

テーマ：「ハクチョウとカモ類を観察しよう」

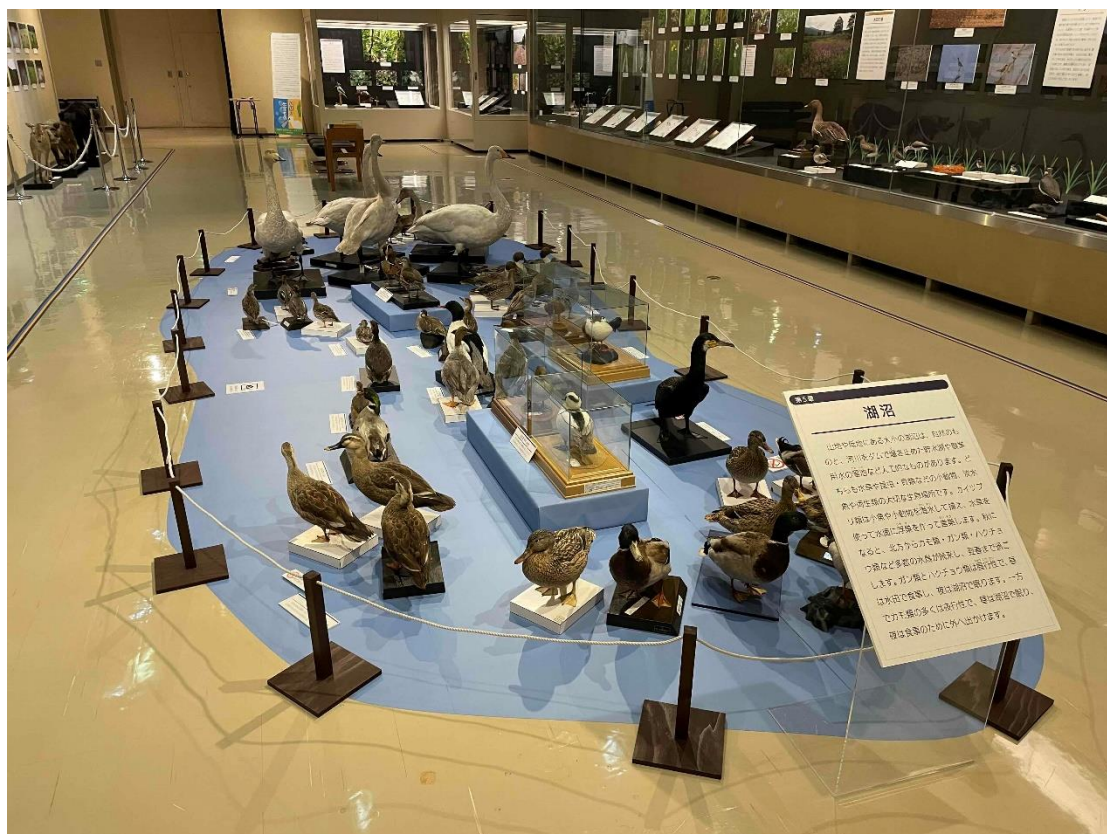
講師：高橋 雅雄（当館専門学芸調査員）

印刷物

ポスター B2 判、カラー印刷、500 部

リーフレット A4 判（折あり）、両面カラー印刷、10,000 部



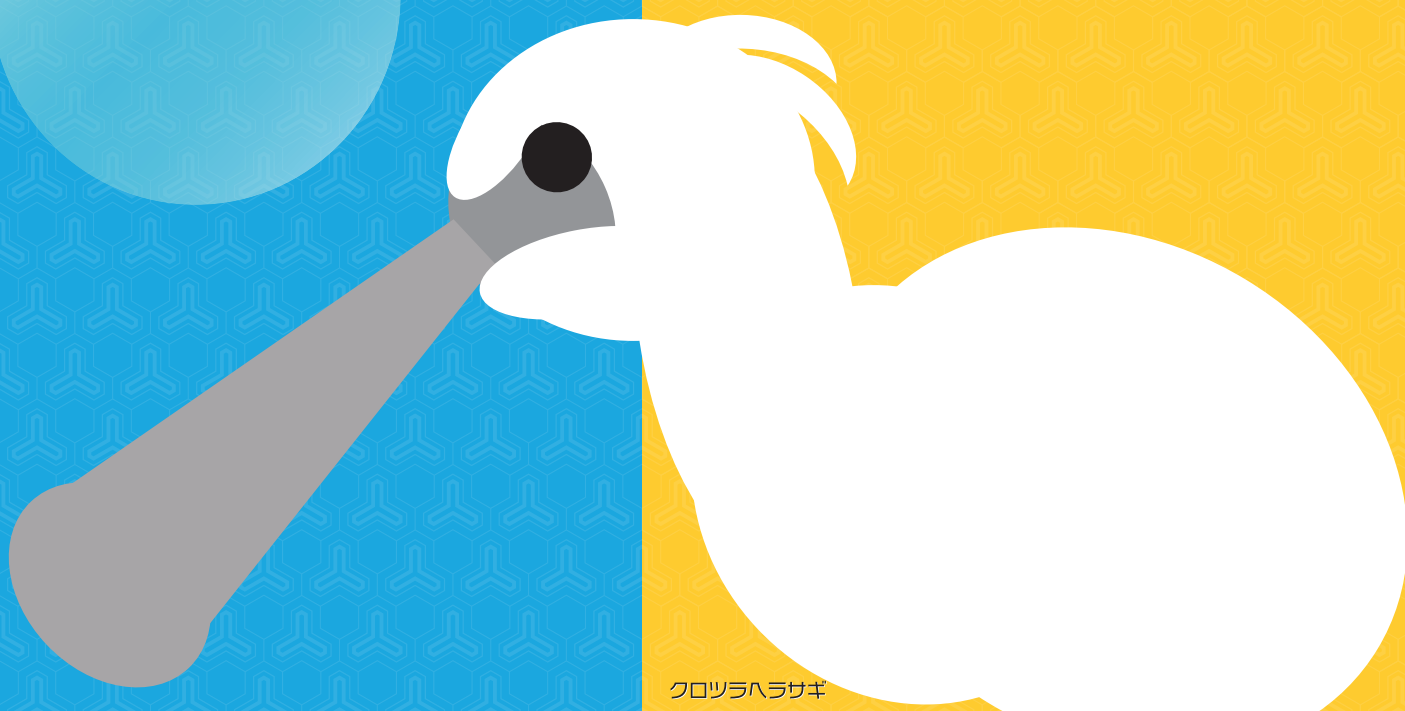




岩手県立博物館 令和四年度テーマ展

水辺の

生きものの



クロツラハラサギ

2022.9.23 [金・祝] → 12.4 [日]

主催：岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団 会場：岩手県立博物館 特別展示室



岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

第1章 河川

上流部は流れが速く、山地のささやかな小川が集まって^{けいりゅう}溪流が生まれます。ここにはニホンカワトンボなど特有の昆虫類やカワガラス・ヤマセミが生息します。

中流部は流れがゆるやかで、^{あさせ}浅瀬には小石が溜まった^た礫河原^{れきがわら}ができます。ここには強い日差しや増水に強いカワラハハコ・ムシトリナデシコなどの草花が育ちます。



ニホンカワトンボ



カワラハハコの群落

第2章 自然湿原

高山や里地に残る湿原はスゲ類など丈の低い草やミズゴケ類が広がり、地面はじわっと湿って水たまりが点在します。今ではあまり見る事ができなくなったハッチョウトンボなど昆虫類、クマドリハエトリなど珍しいクモ類、サギソウなどの可憐な草花が生き残っています。



ハッチョウトンボ



クマドリハエトリ



サギソウ

第3章 水田

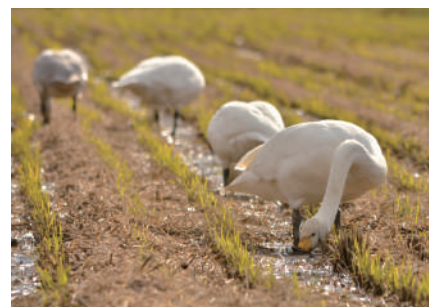
水辺の生きものにとって水田は、春～夏はイネが茂って地面に水が溜まった^ぬ湿った草原で、秋～冬はイネが刈り除かれて水も無い^ら乾いた裸地^ちです。小動物（昆虫類・甲殻類・貝類など）^{こうかくるい}・カエル類・ネズミ類や藻類・雑草・イネ（米）など多くの生きものが暮らし、それらを食べに多くの鳥類が集まります。^{えいそう}ケリは水田で営巣できる特別な鳥で、早春の乾いた水田で卵を温め、初夏の湿った水田でヒナを育てます。



早春の水田で営巣するケリ



夏の水田とアオサギ



稲刈後に落穂を食べるオオハクチョウ

水辺の生きもの

かんたん解説

第4章 岩手の両生類



キタオウシュウサンショウウオ

岩手県内には有尾類^{ゆうびるい}（サンショウウオ類・イモリ類）4種と無尾類^{むびるい}（カエル類）12種が分布します。



トウキョウダルマガエル

トウキョウダルマガエルは岩手県中南部から関東地方までの範囲だけに生息し、水田や溜め池で多く見られます。

第6章 ヨシ原

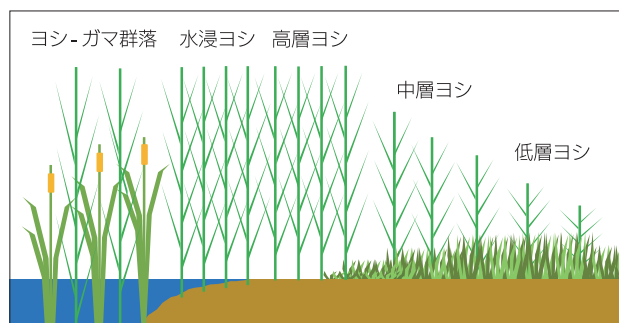
河川や湖沼の岸・沼地・耕作放棄田に広がるヨシ原は、ヨシの背丈や密度、下草の量、水の深さなどの違いによって、いくつかの植生タイプ^{しよくせい}に分かれます。それぞれの植生タイプ^{てきおう}には、それに適応した生態を持つ生きものが暮らしています（例えばコヨシキリは中層ヨシを好みます）。たくさんの植生タイプが混在するヨシ原では、多種多様な生きものを同時に見ることができます。



ホオアカ



コヨシキリ



ヨシ原の多様な植生構造

第5章 湖沼

山地や低地にある大小の湖沼や溜め池は水生の生きものの大切な生息場所で、それらを求めて多くの水鳥が集まります。秋から春にかけては、北方から飛来したカモ類・ガン類・ハクチョウ類などの越冬地^{えっとうち}や渡り中継地^{ちゅうけいち}になります。



盛岡市高松の池に集まるカモ類・ハクチョウ類

第7章 河口・干潟

河川が海へつながる河口には、砂や泥が溜まった干潟^{ひがた}が広がります。表面や内部には、小さな藻類^{そうらい}やゴカイ類・貝類などの小動物^{せいの}がたくさん生息し、栄養塩^{えいようえん}や有機物^{ゆうきぶつ}を吸収して水を浄化^{じょうか}します。それらを目当てに、カニ類やアナジャコ・小魚などが集まり、さらにシギ類・チドリ類など多くの渡り鳥が秋～春に飛来します。クロツラヘラサギはしゃもじのような嘴^{くちばし}を泥水の中で振り回し、先に触れた小動物を捕まえます。



アナジャコ



クロツラヘラサギ

第8章 岩手県立博物館の最新研究

高松公園^{しすいえん}芝水園（盛岡市）のヨシ原は、クイナやオオヨシキリなど水辺で暮らす鳥類の貴重な繁殖地^{はんしよくち えつとうち}や越冬地^{えつとうち}です。現在は乾燥化・樹木の侵入^{がいらいしよくぶつ}・外来植物の拡大などでヨシ原の状態が悪化し、夏鳥のコヨシキリやヨシゴイが飛来しなくなりました。環境保全の基礎となる「生きもの生息確認調査」を当館で実施しています。

春子谷地^{はるこやち}湿原（滝沢市）は岩手山麓^{さんろく}に残る貴重な自然湿原で、ゴマシジミなどの昆虫類・ババハシリグモなどのクモ類・トキソウやモウセンゴケなどの草本類が多数生息します。当館の調査で、近年増加するニホンジカやイノシシが侵入して荒らしていることが判明しました。湿原^{まも}を護っていくために、「生きもの生息確認調査」と大型獣の侵入状況調査を実施しています。



高松公園芝水園のクイナ



春子谷地湿原に現れたニホンジカ

関連事業

※詳細は当館ホームページにてご確認ください。

● 日曜講座・文化講演会・特別講演会：当館講堂 当日受付・聴講無料

「岩手の水辺の生きもの：特に野鳥について」

日時：2022年9月25日（日）13:30～15:00

講師：高橋 雅雄（当館学芸員）

「南半球のマングローブ林での鳥類研究：カッコウ類と宿主の軍拡競争」

日時：2022年10月23日（日）13:30～15:00

講師：上田 恵介 氏（日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授）

「水辺に棲む『その他の無脊椎動物』と環境」

日時：2022年11月3日（木・祝）13:30～15:00

講師：松政 正俊 氏（岩手医科大学教授）

「岩手の水辺のクモ・トンボ」

日時：2022年11月13日（日）13:30～15:00

講師：渡辺 修二（当館学芸員）

「岩手の水辺の植物について～春子谷地を中心に～」

日時：2022年11月27日（日）13:30～15:00

講師：鈴木 まほろ（当館学芸員）

● 展示解説会：当館特別展示室 当日受付・要入館料

日時：2022年9月23日（金・祝）・10月9日（日）

各回とも 14:30～15:30

定員：先着15名

● 第84回自然観察会：盛岡市高松公園 事前申込

「ハクチョウとカモ類を観察しよう」

日時：2022年11月23日（水・祝）10:30～12:00

講師：高橋 雅雄（当館学芸員）

利用のご案内

● 開館時間

9:30～16:30（入館は16:00まで）

● 会期中の休館日

2022年9月26日（月）

10月3日（月）・11日（火）・17日（月）・24日（月）・31日（月）

11月7日（月）・14日（月）・21日（月）・28日（月）

● 入館料

一般 310円（140円）・学生 140円（70円）・高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

- ・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。
- ・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。
- ・岩手県子育て応援パスポート所持者で、パスポートに記載のあるお子様と一緒に来館された場合、入館料免除となります。

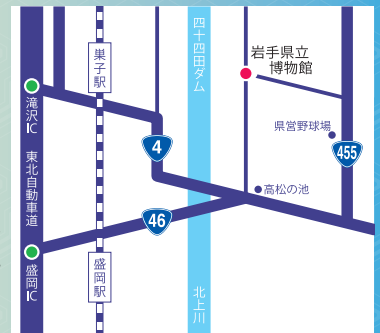
● 交通のご案内

● お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分 滝沢中央スマートICから約20分
滝沢ICから約20分

● 路線バスをご利用の場合

盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば（旧ななっく前）発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乘車、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。



岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
TEL 019-661-2831 FAX 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

